



児童たちが mini ロボット製作を楽しんだ

「ロボット教室」

= 富岳館高校 =
学生象
工業指導と生徒のつくづくの楽しさ

富岳館高校(松下勝也
校長)で27日、小学生
を対象にした「ロボット
教室」が開かれ、同校工
業テクノロジー系列の教
員の指導で19人の児童
がminiロボット製作
を楽しんだ。

同教室は、モノづくり
の楽しさ素晴らしさを感じ
ながら、自由な発想力
と創造力、社会に役立つ
ものを育むという目的意
識、最後までやり通す責
任感や忍耐力を養う目的
などで企画されたもの
で、同校「業テクノロジー
系列の教員が指導、もの
づくり部の生徒のサポート
で小学生たちが、IA
I製のminiロボット
製作を行い、作ったmi
niロボットでのサッ
カーゲームを楽しんだ。
昨年に続く「ロボット

教室」は、富士宮商工会
議所前会頭の故長谷川浩
之さん(前HKS社長)
が地域の産業振興と産学
連携を願って推進し同校
への工業テクノロジー系
列の設置が実現したこと
から、工業テクノロジー
系列への理解を深めるた
めに地域の子ども達への
夏休みの学校公開講座と
しても企画されたものと
もなっている。

◆学校対抗の試合、非力と見られた
風景は、大会を支えてくれているボ
ランティアの方々、指導の各校の先
生たち、父兄のあたたかな声援、
大会運営の教育委員会関係者の努力
の輝く瞳と誇らしげな姿にあふれま
す。

毎年、会場にあふれるさわやかな
小規模校が優勝を狙っていた大規模
校のチームに打ち勝つ試合なども目
にした年もありました。年ごとに高
まるレベルとマナー向上に大会開催
の意義を感じます。各校では、休日
戦闘が刻まれることででしょう。各校
返上で選手を指導しそれを支える応
援の各校の先生たちの「児童の心と
期待します。

岳陽新聞

7月29日 土曜日

2017年(平成29年)

発行所 岳陽新聞社

〒418-0002 富士宮市中原町7番地
☎(0544)24-9050 FAX(0544)24-9007
購読料1ヶ月 630円 1部売り 50円

フローハンカス・住宅設備・太陽光発電システム

高圧ガス・防災機器・環境機器

オブリック株式会社
富士宮市田中町543番地
TEL.0544-24-2211
FAX.0544-23-0348 http://www.obiick.co.jp

富士宮経済NEWS**滋賀県立八幡商業高校有志**

物怖じせず、丁寧な商品説明で売上伸ばし

富士宮高校会議所メンバーノハウ学び

26日から来店している滋賀県立八幡商業高校生徒有志「天八商店」メンバーが27日、西町レトロ館で富士宮高校会議所メンバーと交流し、両者同時に西町地域周辺で戸別訪問販売を展開した。大阪と伊勢に加え日本三大商人としてその名を知られる近江商人について学ぶ同校は、「近江再生プロジェクト」と題し、22日から28日ま

ス販売では売上金17万円となり、大社周辺での戸別訪問販売を含むものと市内だけで35万円以上、これまで全で合わせて87万円の売上に

26日の市役所特設ア

で同県と関係が深い石川県から長野県、群馬県、東京都にわたって仕入れ

販売体験学習を行ない、富士宮市に来るまでに

34万円を売上げた。

26日の市役所特設ア

で同県と関係が深い石川

で調子の悪いメンバーが出るなど、疲れが見える

一行は「疲れましたか」の間に「ちょっと。でも大丈夫です」と元気な笑顔を見せ、地域住民た

ちと積極的な声かけや行商活動を行なった。

11班に分れた同店メンバード、商品化した

「富士の4歳酒まんじゅう」「箱すし」に加え、

市内製造で独自仕入れの

「ドライ納豆」を台車に乗せた同会議所メンバー

は西町商店街や同地区

周辺地域をまわり、戸別

訪問で商品売り切りを

狙つた。

同店女子3人による班

は金沢産の特産物販売を

展開し、丁寧な商品説明

と種類的な声かけで次々

に商品を売りさばき、エ

ネルギッシュに行商活動

を実施していた。

途中まで共に活動した

同会議所メンバーは、同

店女子たちの声かけや詳

細な商品説明に刺激を受け

、自分たちで商品開発

したまんじゅうなどを売

いたため、活動に勤しんで

いた。

◆小学生ソフト開幕

◆きょうとあす、夏の恒例行事となつて、夏の豪華景品付きガチャガ

◆高砂祭り、豪華景品付きガチャガ

◆高砂祭り、豪華景品付きガチャガ